



南陽小学校だより 「いい顔 いい声 いい心」 NO3

発行：令和3年5月14日（金） 文責：校長 野田 浩司

南陽小学校 HP：<http://www.nagasaki-city.ed.jp/nanyo-e/>



☆GIGA スクール 各学年で着々と進んでいます。

昨年度、コロナ禍を受けて、前倒しで整備された GIGA スクール構想。南陽小学校においても、一人一台の端末の準備が整い、校内における大容量のネットワーク通信も整備されました。環境は整っても、使わないことには意味がありません。南陽小学校では、それぞれの学年で、「とにかく使ってみる」作戦で、活用を進めています。「習うより慣れろ」という諺のように、使い始めると、子供たち自身が様々な発見をして、さらに意欲が高まるといったいいサイクルが各学年で見られるようになっていきます。

<6年生の日記から>

- ◆ ぼくは、キーボードで文字を打つこと自体、とてもワクワクしました。すごく近未来的で楽しかったです。
- ◆ 学校でパソコンを使うことが新鮮で楽しかったです。次は今日よりもたくさん文字を打ちたいです。
- ◆ 4、5年生の時に、ローマ字をたくさん練習していたから、パソコンもとても使いやすかったです。6年生になるまでに学習したことはとても大切なんだなあと思いました。だから、6年生で学んだことも中学生になってから使うと思うのでしっかり覚えようと思います。

※6年生は創作した童話のパソコンを使ってまとめているそうです。文字だけではなくて、イラストや音なども使って表現の幅が広がりそうですね。

<南陽小ホームページ 「校長のつぶやき」5月13日 NO23より>

今日は4年生の体育の授業におじゃましました。リズムダンスの授業をしていましたが、その学びの様子を見て驚きました。一人一人がクロムブック（一人一台端末として割り当ててあるパソコン）をもち、お手本となる動きをそれぞれが動画サイトで閲覧し、その動画を参考にそれぞれがダンスの練習をしていました。子供たちそれぞれに進み具合も違いますし、苦手な場所も違う。そんな中においてこのような取組はまさに「個別最適化した学び」になっていくのだらうと思えました。

体育館や各教室において数十人がアクセスしても安定した通信環境が実現できる大容量ネットワークが整備されており、子供たちの学びを支えています。GIGA スクール構想は始まったばかりですが、このような普段使いを繰り返す中で、様々な好事例を積み重ねていくことができるのだと感じました。先生方は「使い始めると子供たちのほうがどんどんいろんな発想で使い始める」ということを口にしていました。様々な授業での活用を通して、子供たちの学びが深まることを期待しています。

（裏面に続く）



○新型コロナウイルス感染症にかかわってのお願い

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いています。

長崎県においては感染の広がりや5段階で示す独自のステージが、ステージ5（県下全域での急増）に引き上げられ、さらには県内全域に医療危機事態宣言が発令されました。その危険は大変身近なものとなっており、感染対策を十分に講じていても感染してしまうという事例も多く報告されています。そんな中、感染された方や検査を受けた方への配慮が、今、私たちには求められています。改めて以前配布した「長崎やさしいまち宣言」の理念を思い出しながら、南陽小全体で皆さんの人権を守る思いを大切にしていきたいと思えます。

今こそ「やさしさ」で新型コロナに立ち向かいましょう。

『長崎やさしいまち宣言』

私たちは宣言します。

♡医療関係者や感染者等に対して差別やいじめはしません！

♡風評被害をなくします！

♡コロナ禍で頑張っている人を応援します！

（長崎市制作）

<学校で子供たちと確認していること>

- ◇ マスク着用、手洗い、換気、人との距離をとることが、感染しないために私たちにできる今一番のこと。
- ◇ 病気になった方が一番大変で、こわく苦しい思いをしているので、噂をしたり、勝手に想像で話をしたりすることは絶対にしないこと。
- ◇ 病気になった方やその御家族に対する一番のやさしさは、静かに見守ることで、私たちはその上で感染対策を継続し、いつも通りの学校生活を送ること。
- ◇ 誰が感染したとか人物や感染場所の特定に関わるような噂話はしないこと。先生方に質問しても答えられないこと。それが「非公表」ということ。

どうぞ、御家庭でも話題にさせていただき、人権等について考えるきっかけにさせていただければと思います。そして、これまで同様、子供たちの「いい顔 いい声 いい心」があふれる「やさしい南陽小」を学校と家庭・地域が連携しながら実現してまいりましょう。どうぞよろしくお願いいたします。